平成２６年度スーパーグローバルハイスクール構想の概要

<table>
<tr><td>指定期間</td><td>ふりがな</td><td colspan="4">おおいたけんりつおおいたうえのがおかこうとうがっこう</td><td>②所在都道府県</td><td>大分県</td></tr>
<tr><td>26～30</td><td>①　学校名</td><td colspan="4">大分県立大分上野丘高等学校</td><td colspan="2"></td></tr>
<tr><td rowspan="2">③対象学科名</td><td colspan="5">④対象とする生徒数</td><td colspan="2">⑤学校全体の規模</td></tr>
<tr><td>１年</td><td>２年</td><td>３年</td><td>４年</td><td>計</td><td colspan="2" rowspan="2">全日制・普通科。各学年８クラス・３２０名。全校生徒２４クラス・９６０名。</td></tr>
<tr><td>普通科</td><td>３２０</td><td>１６０</td><td>１６０</td><td></td><td>６４０</td></tr>
<tr><td>⑥研究開発構想名</td><td colspan="7">大分上野丘グローバル・リーダー育成プロジェクト</td></tr>
<tr><td>⑦研究開発の概要</td><td colspan="7">（１）「課題研究」の指導方法・教材の開発及び実践
（２）国際的な視野を涵養するグローバルな体験の創出
（３）生徒のグローバルな成長を測るルーブリック評価の開発</td></tr>
<tr><td>⑧研究開発の内容等</td><td>⑧-1全体</td><td colspan="6">
(1) 目的・目標
目的）多文化共生の視点をもって主体的に考え発信のできる、国際社会でリーダーとして活躍する資質を持ち自己を確立した生徒を育成する。
目標）国際学生や地元企業との連携により、底の深い「課題研究」を進めること等を通じて、論理的・批判的な思考力の育成、英語で表現する力の向上、国際的に活躍しようとする意欲や日本や大分県のことを学ぼうとする意欲の涵養を図り、全ての生徒が国際的に活躍する力と意欲を備えることを目指す。
(2) 現状の分析と研究開発の仮説
現状の分析）
○大分県は「アジアに開かれた飛躍する県づくり」を標榜し、多くの分野で各国との連携強化に乗り出している。県教育委員会は「大分県グローバル人材育成推進会議」を立ち上げグローバル人材の育成を目指している。本県には立命館アジア太平洋大学（ＡＰＵ）があり、人口当たりの留学生比率は日本一である。
○本校は創立１２９年を迎える大分県屈指の伝統校であるが、地理的環境もあり、グローバル化を実感し世界に目を向ける機会や自らの意見を発信することは少ない。英語が世界で活躍するために必要なコミュニケーションツールという意識も低い。これらのことは、データからも明らかである。
○こうした現状を踏まえ、大学や企業と連携して、全ての生徒に「国際的に活躍する力と意欲」を備えさせていくことが本校の課題である。
研究開発の仮説）
[仮説１]グローバルな社会課題やビジネス課題について、自ら考えを整理し表現するディスカッション型の授業形態による「課題研究」を３年間通して行うことにより、論理的で批判的な思考力や表現力が身につく。また、ＡＰＵ国際学生や地元企業との日常的なやりとりの中で「課題研究」を進めることにより、英語で表現する力の向上や、国際的に活躍しようとする意欲、日本人や大分県民としてのアイデンティティの深まりが生まれる。
[仮説２]海外での外国人との対話や、世界トップレベルの学生と交流する機会、グローバルなビジネスに触れる体験等を積み重ねることにより、グローバルな社会・ビジネスへの認識や課題意識が深まり、国際的に活躍しようとする意欲が高まる。同時に、日本人としてのアイデンティティの深まりや英語でコミュニケーションする力の高まりが生まれる。
[仮説３]生徒の課題解決力を測る評価方法を開発し、教員間での共有を図ることで、生徒の力の客観的な評価・分析に基づき、課題研究をはじめとした教育活動の改善を図ることができる。
(3) 成果の普及
ア　県内高校とのＳＧＨコンソーシアムの形成
イ　県内中学校への取組内容及び研究開発成果の紹介
</td></tr>
</table>

		ウ　「課題研究」レポートの印刷配布 エ　ホームページによるＳＧＨの取組の情報発信及び学校パンフレットの作成 オ　「おおいた教育の日」における一般公開
	⑧-2 課題研究	**(1) 課題研究内容** ベトナムやインドネシアと大分県の関連性を条件に「観光・経済・エネルギー」といった領域から考察を行う内容 ［具体的研究テーマ］ ア　インドネシアと大分県の再生エネルギー・ビジネスの考察 イ　「おんせん県大分」にベトナム人観光客を誘致する観光政策についての考察 ウ　ベトナムに大分のアンテナショップを設置するための考察 **(2) 実施方法・検証評価** ア　アジア諸国と大分県の関係性やグローバル社会を俯瞰するための単元開発 イ　ディスカッション型授業及び教材の研究開発 ウ　ＡＰＵ大学教員や国際学生との日常的・継続的な連携 エ　講演、インタビュー、講評による地元企業との連携 オ　国内外でのフィールドワークによる課題の追究 カ　ＡＰＵやハーバード大学生と連携したプレゼンテーションの機会の提供 **(3) 必要となる教育課程の特例等** 第１学年：「課題研究Ｉ」（４単位）を「現代社会」（２単位）と「社会と情報」（２単位）の代替として全員を対象に実施。 第２学年：「課題研究Ⅱ」（３単位）を「英語表現Ⅱ」（２単位）の代替及び「総合的な学習の時間」（１単位）の名称変更として、ＳＧＨコースを対象に実施。 第３学年：「総合的な学習の時間」（１単位）を「課題研究Ⅲ」（１単位）と名称変更してＳＧＨコースを対象に実施。
	⑧-3 上記以外	**(1) 課題研究以外の研究開発の内容・実施方法・検証評価** ○国際的な視野を涵養するグローバルな体験の創出 ア　海外修学旅行での現地高校生との対話による交流の充実 イ　世界トップレベルの学生や国際人と交流する機会の創出 ウ　グローバル・コミュニケーション部の創設 ○ＵＳＧルーブリックの開発 課題解決力を評価するルーブリックの作成・実践と教員同士や生徒との共有 **(2) 課題研究の実施以外で必要となる教育課程の特例等**　なし **(3) グローバル・リーダー育成に関する環境整備、教育課程課外の取組内容・実施方法** **○環境整備について** ・　「グローバル・ラボラトリー」やディスカッションルームの開設 ・　テレビ会議のシステム構築 ・　英文図書・英字新聞の開架と「国際社会の諸課題とその解決」図書の購入 **○教育課程課外の取組内容・実施方法** ア　カリフォルニア大学バークレー校への研修派遣 イ　ＡＩＵ高校生交流プログラムへの応募・参加 ウ　「大分国際車いすマラソン」等地元開催の国際化関連事業との連携・参加 **(4) 幹事校としての取組（該当する場合のみ記入）** なし
⑨その他特記事項		なし